



校訓：進取 誠実 敬愛 ～よりよく学び 心豊かに たくましく～

のびる太白台

学校だより
2 月 号
R 6 . 2 . 1

子供の力を信じて、伸ばすこと

校長 本山 充

1月中のことです。校長室の戸を開けて、今日も2年生の子がやってきました。2年生が取り組んでいる九九の9の段（校長担当）を挑戦しにやってきたようです。ちょっと不安そうな表情で、校長室に入ってきました。その子は練習してきた9の段をはりきって言い始めました。



始めはすらすらと進んでいきましたが、途中で答えが出ず止まってしまいました。少したって答えた後も何度か間ができました。でも、最後まで必死にがんばっています。おまけして合格にしてあげたいという気にもなります。もう何回か通ってきていて合格にならないのですから…。でも、それでは本当の合格にはなりません。この子の他にも4回も5回も挑戦して見事に合格した子がいます。合格したときは、本当にうれしそうな笑顔を見せてくれました。

子供を育てるには、困難なことにもめげずに、それを乗り越えることを経験させることが大切です。がんばっているから、かわいそうだからといって、評価を甘くしたり、手を貸したりすることは、その子から達成感や成就感を奪うことになります。本当の優しさや思いやり、そしてその子の成長を考えるのであれば、少し厳しくてもできるまで見守ることが必要だと思います。

小学校教育で忘れてならないことは、子供の力を信じて、それを確実に伸ばしていくことだと思います。

合格できなかった子は、もちろん、最後には合格シールをもらい、満面の笑みを浮かべて校長室をあとにしました。

町英語スピーチコンテスト

1月20日（土）シグナス

津幡町では毎年この時期に小中学生の英語スピーチコンテストを開催しています。本校からは

「スピーチ小学生部門」

5年生…岡本 茉恵 北川 駿

6年生…河原 寧音・瀧下 心音 ペア 牧村 晃成・丸茂 太一 ペア

「プレゼンスピーチ部門」

6年生…庭 愛心

の7名が出場しました。

大変大勢の前でしたが、堂々としたスピーチを披露できました。どのスピーチも優劣つけ難いものでした。「プレゼンスピーチ部門」で**6の1 庭 愛心**さんが**優秀賞**に選ばれました。

参加した人たちにはとてもよい経験の場になったのではないのでしょうか。